

日蓮大聖人御書全集

しよにんごへんじ

諸人御返事

新版  
1717

諸人御返事

弘安元年こうあんがんねん がつ 3月21日 にち 57歳 さい

さんがつじゅうくにち つかい ふみ どうにじゅういちにちいぬのときとうらい

三月十九日の和風ならびに飛鳥、同二十一日戌時到来す。

にちれんいっしょう あいだ きしょう しょうがん じょうじゆ

日蓮一生の間の祈請ならびに所願、たちまちに成就せし

ご ごひやくさい ぶつき ふけい

むるか。はたまた五の五百歳の仏記、あたかも符契のごと

せん しんごん ぜんしゅうとう ほうぼう しよにんとう め あ

し。詮ずるところ、真言・禅宗等の謗法の諸人等を召し合

ぜひ けつ にほんこくいちどう にちれん でしだんな

わせ、是非を決せしめば、日本国一同に日蓮が弟子檀那と

わ でしとう しゆつけ しゆじよう じようこう し ざいけ

なり、我が弟子等の、出家は主上・上皇の師となり、在家

そう しんか つら いちえんぶだい みな ほうもん

は左右の臣下に列ならん。はたまた、一閭浮提、皆この法門

を仰がん。幸甚、幸甚。

あお

こうじん

こうじん

こうあんがんねんさんがつにじゅういちにちいぬのとき

弘安元年三月二十一日戌時

しよにんごへんじ

諸人御返事

日蓮

にちれん

花押

かおう